

(17) 行政に求めたい支援

複数回答可(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア	学習支援者の情報提供	66	8	31	27
イ	学習教材の提供や学習教材に関する情報提供	90	9	47	34
ウ	学習教材の多言語化	44	4	21	19
エ	学習教材のデジタル化(音声言語化など)	22	3	11	8
オ	他の教室のすぐれた取組の紹介	70	8	37	25
カ	学習支援者の研修機会提供	81	2	46	33
キ	総合的・系統的な学習・教育制度の整備	46	2	26	18
ク	教室の情報を広く住民に知らせる	80	11	41	28
ケ	識字・日本語の学習や活動の方法について、相談窓口を整備する	47	7	18	22
コ	教育・福祉・労働・生活等の相談窓口の紹介、情報提供	52	3	24	25
サ	その他	45	5	32	8
	記述・選択なし	12	4	5	3

(その他の回答)

- ・ボランティアの活動は限られているので、持続的継続的な支援のために経験豊富な人材を提供してほしい
- ・学習支援者の交通費実費支給
- ・公民館の設備
- ・会場の確保、風評被害への対策
- ・外国人市民への日本語教室の情報(多言語)
- ・小中学校の担任からの情報提供
- ・ボランティア活動への公的補助金に関する相談窓口
- ・後継者の確保
- ・地域の日本語教育を統括する窓口を作してほしい
- ・わかりやすい多言語対応の「大阪府下の日本語教室一覧」を作成してほしい
- ・母国で中学校課程修了後に来日し、日本の高校進学をめざす子どもたち(ダイレクト)に対する公的な日本語・学習支援の機会が不足しているため、その機会の整備
- ・地域会館における教室(無料)貸出とWi-Fi充実
- ・各区に常時開催されるクラスがあるとよい
- ・様々な関連組織とのネットワーク
- ・各教室同士の横のネットワーク
- ・これまでの識字運動の実績や人権を基本に据えた理念をあまり踏まえない日本語の指導を中心とした教室活動への、継続的な働きかけ
- ・オンラインの活動をサポートしてほしい

- ・諸言語通訳の確保・迅速な手配
- ・補助金・支援者の拡充
- ・部落差別から生まれた識字・日本語教室をこれまでの伝統を受け継ぎ、外国人学習者ばかりになっても、人権の砦として続けていくべき
- ・民間の施設を借りている場合、利用料を捻出してほしい